

世界的な旅行ガイドブックが選ぶ2022年のおすすめの旅行先 上位 10 地域に「四国」が選ばれました！ ～「Lonely Planet's Best in Travel 2022 地域編」で 「四国」が第 6 位に～

世界的に人気の高い旅行ガイドブック「Lonely Planet（ロンリープラネット）」が発表する 2022 年にお勧めの旅行先「Best in Travel 2022」の地域部門で、日本の「四国」が第 6 位に選出されました。

当機構では、「四国はひとつ」を理念に、域内の地方自治体や観光地域づくり法人、関係事業者、経済団体等が一体となり、各省庁や四国運輸局、JNTO等との連携のもと、「広域観光の推進による四国ブランドの確立」に取り組んできました。今回の選出においても、これまでの官民一体となった取組みにより、四国遍路における「お接待」文化や環境保全に配慮する地域住民の皆様の意識といったコミュニティの繋がりが高く評価されたものと考えています。

今回の選出を励みに、with/afterコロナにおいて安心安全に留意した誘客促進を図るべく、現在実施中の四国デスティネーションキャンペーンを契機として、「四国～Shikoku～」ブランドの確立に向けた積極的な取組みを進めてまいります。

1. 共同記者会見の概要

- (1) 会見日時 2021 年 11 月 4 日（木）11：00～12：00
- (2) 会見場所 かがわ国際会議場（香川県高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー6F）
- (3) 発表者
 - ・（一社）四国ツーリズム創造機構 代表理事 半井 真司
 - ・ 同 上 事業推進本部長 桑村 琢
 - ・国土交通省 四国運輸局 局長 吉元 博文
 - ・日本政府観光局（JNTO）地域連携部 地域プロモーション連携室 マネージャー 大谷 政勝

2. 「Lonely Planet's Best in Travel 2022」について

(1) 概要

毎年秋にロンリープラネット※¹が発表する、今、最も旬な世界で訪れるべき上位 10 の国・地域・都市等の観光地ランキング。ランキングは、ロンリープラネットの編集者やライター、ブロガーの推薦を受けた候補の中から、同社内に設置された専門家委員会が、話題性や人を感動させる要素など、独自の基準により審査を行い決定。

選出された国・地域はウェブサイトで公表されるほか、その年の最新の旅行トレンド情報とともにイヤーズブックとして出版される。

※1：Lonely Planet（ロンリープラネット） <https://www.lonelyplanet.com/>

同名の世界的に人気の高いガイドブックシリーズで知られる旅行メディア。

英語に加え、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語等の多言語でガイドブックや旅行雑誌、ウェブサイト、ビデオ等の様々な媒体を通じて世界の旅の魅力を発信している。

(2) Destination Top 10's

	Countries	Regions	Cities
1	Cook Islands	Westfjords (Iceland)	Auckland (New Zealand)
2	Norway	West Virginia (USA)	Taipei (Taiwan)
3	Mauritius	Xishuangbanna (China)	Freiburg (Germany)
4	Belize	Kent's Heritage Coast (UK)	Atlanta (USA)
5	Slovenia	Puerto Rico	Lagos (Nigeria)
6	Anguilla	Shikoku (Japan)	Nicosia/Lefkosia (Cyprus)
7	Oman	Atacama Desert (Chile)	Dublin (Ireland)
8	Nepal	The Scenic Rim (Australia)	Merida (Mexico)
9	Malawi	Vancouver Island (Canada)	Florence (Italy)
10	Egypt	Burgundy (France)	Gyeongju (South Korea)

(3) 評価ポイント

- topicality (話題性)
- unique experiences (ユニークな体験)
- 'wow' factor (「すごい」要素)
- commitment to sustainable tourism practices (持続可能な観光実践への取り組み)

(4) 選定経緯

当機構の英語対応窓口「四国コンシェルジュデスク」から、ロンリープラネット社の編集担当者に様々な四国の情報提供やリサーチ報告、記事提示等を重ねた結果、2021年、コロナからの人類の「癒し」「新しい世界感」といったコンセプトで「四国遍路」がベストリージョンの大きな要素となった。

10月28日に公表されたロンリープラネット社のプレスリリースでは、四国を【some lesser-known gems like Shikoku, Japan (あまり知られていない日本の宝)】として例示する他、この度発売された同社のイヤーブックでは「四国遍路」、「上勝町(ゼロウェイスト・タウン)」、「祖谷溪」を取り上げており、こうしたテーマが今回の選定に際しフックになったものと考えられる。

また、同誌でハイライトとして徳島県の「祖谷溪」、愛媛県の「石鎚山」と「道後温泉」、香川県の「直島」、高知県の「大岐の浜」が挙げられており、今後も四国4県を一体としたプロモーションを継続していく。



プレスカンファレンス（イタリア：フィレンツェ）